

平成 26 年度 佐賀県青少年育成県民会議の活動方針

あすの郷土を担い日本の将来を築く原動力となる子ども・若者が心身ともに逞しく成長することを願って、昭和 41 年から続けてきた青少年育成県民運動は、県、市町及び関係機関、地域の青少年育成団体などで取り組まれている。

この運動に支えられ、本県の子ども・若者は健全な成長を遂げ、社会の重要な役割を担い活動されている。

その一方で、子ども・若者を取り巻く社会環境は、少子高齢化、核家族化、地域社会の連帯の希薄化、消費社会化の進展などにより複雑化しており、少年の凶悪事件やインターネットに起因して子どもたちがトラブルに巻き込まれるケース、いじめ、不登校の問題が深刻化するとともに、非正規労働者の若者が増加し、フリーターやいわゆるニートの数も高止まりの状況が続いているなど、若者の社会的自立の遅れが大きな問題となっている。

こうした中、未来を担う子ども・若者の豊かな可能性を伸ばしていくためには、家庭や学校、地域社会など社会全体が互いに連携、協力を図りながら一人ひとりが抱えている、異なる問題を配慮しつつ子ども・若者を支援していくことが重要になってきている。

子ども・若者が、その輝かしい未来を自らひらき、希望に満ちて前進するようお願い、平成 26 年度の重点目標を次のとおり掲げ、関係機関、団体などと連携し、青少年市町民会議と共に、地域に即した子ども・若者の育成支援運動を推進することとする。

重点目標

- I 子ども・若者の自主性・社会性の伸長と自立の促進
- II 子ども・若者育成支援に対する親・大人・社会の意識啓発の促進
- III 子ども・若者の非行防止と社会環境の浄化・整備促進
- IV 子ども・若者育成支援指導者の養成促進
- V 運動の活性化と充実強化の促進
- VI 県民会議基盤づくり